

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成21年9月10日(2009.9.10)

【公開番号】特開2009-108100(P2009-108100A)

【公開日】平成21年5月21日(2009.5.21)

【年通号数】公開・登録公報2009-020

【出願番号】特願2009-25420(P2009-25420)

【国際特許分類】

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 33/577 (2006.01)

C 1 2 N 5/06 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 16/28 Z N A

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 P 35/00

G 0 1 N 33/53 D

G 0 1 N 33/53 Y

G 0 1 N 33/577 B

C 1 2 N 5/00 E

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月23日(2009.7.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号 1 または配列番号 2 のアミノ酸残基 114 ~ アミノ酸残基 150 にまたがる C r i p t o のシステインリッチドメインに含まれるエピトープと特異的に結合する、抗体。

【請求項 2】

A 6 . C 1 2 . 1 1、A 8 G 3 . 5 および A 6 F 8 . 6 からなる群から選択されるハイブリドーマによって生成される抗体が結合するエピトープの群から選択されるエピトープと結合する、抗体。

【請求項 3】

C r i p t o と特異的に結合し、C r i p t o と A L K 4 との間の相互作用を阻害する、抗体。

【請求項 4】

ハイブリドーマ A 6 C 1 2 . 1 1、A 6 F 8 . 6、A 7 H 1 . 1 9、A 8 F 1 . 3 0、A 8 G 3 . 5、A 1 9 A 1 0 . 3 0、A 1 0 B 2 . 1 8、A 2 D 3 . 2 3、A 7 A 1 0 . 2 9、A 9 G 9 . 9、A 1 5 C 1 2 . 1 0、A 1 5 E 4 . 1 4、A 1 7 A 2 . 1 6、A 1 7 A 1 2 . 2 8、A 1 7 G 1 2 . 1、A 1 7 H 6 . 1、A 1 8 B 3 . 1 1、B 3 F 6 . 1 7、および B 1 1 G 8 . 4 によって生成される抗体が結合するエピトープの群から選択されるエピトープと特異的に結合する、モノクローナル抗体。

【請求項 5】

前記抗体が、F a b フラグメント、F a b ' フラグメントおよび F (a b) 2 フラグメントからなる群から選択される抗体フラグメントである、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の抗体。

【請求項 6】

全長抗体である、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の抗体。

【請求項 7】

単鎖抗体である、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の抗体。

【請求項 8】

化学療法剤に結合されている、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の抗体。

【請求項 9】

非結合化学療法剤と組み合わせて投与される、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の抗体。

【請求項 10】

前記化学療法剤が、腫瘍活性化プロドラッグ、放射性核種および毒素からなる群から選択される、請求項 8 または 9 に記載の抗体。

【請求項 11】

前記薬剤がメイタンシノイドである、請求項 10 に記載の抗体。

【請求項 12】

前記抗体がモノクローナル抗体である、請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の抗体。

【請求項 13】

前記抗体がヒト化抗体である、請求項 1 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の抗体。

【請求項 14】

前記抗体がヒト抗体である、請求項 1 ~ 13 のいずれか 1 項に記載の抗体。

【請求項 15】

請求項 1 ~ 7 および 10 ~ 14 のいずれかに記載の抗体の少なくとも 1 つと、キャリアとを含む、薬学的組成物。

【請求項 16】

前記抗体が化学療法剤に結合されている、請求項 15 に記載の薬学的組成物。

【請求項 17】

さらに非結合化学療法剤を含む、請求項 15 に記載の薬学的組成物。

【請求項 18】

メイタンシノイドに結合された、配列番号 1 もしくは 2 のアミノ酸残基 114 ~ アミノ酸残基 150 にまたがる C r i p t o のシステインリッチドメインに含まれるエピトープと特異的に結合する、抗体またはそのフラグメントを含む、薬学的組成物。

【請求項 19】

インビトロまたはインビボの腫瘍増殖を減少させるための、請求項 1 ~ 14 のいずれか 1 項に記載の抗体、または、請求項 15 ~ 18 のいずれか 1 項に記載の組成物の使用。

【請求項 20】

前記腫瘍細胞が、乳房腫瘍細胞、精巣腫瘍細胞、結腸腫瘍細胞、肺腫瘍細胞、卵巣腫瘍細胞、膀胱腫瘍細胞、子宮腫瘍細胞、子宮頸腫瘍細胞、膵臓腫瘍細胞、および胃腫瘍細胞からなる群から選択される、請求項 19 に記載の使用。

【請求項 21】

所望でない細胞増殖の処置のための、請求項 1 ~ 14 のいずれか 1 項に記載の抗体、または、請求項 15 ~ 18 のいずれか 1 項に記載の組成物の使用。

【請求項 22】

サンプルに請求項 1 ~ 14 のいずれか 1 項に記載の抗体、または、請求項 15 ~ 18 のいずれか 1 項に記載の組成物を添加する工程を含む、サンプル中でのインビトロの腫瘍細胞の増殖を調節する方法。